



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月7日

東

上場会社名 東洋ビジネスエンジニアリング株式会社 上場取引所
 コード番号 4828 URL <http://www.to-be.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 大澤 正典
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 業務管理本部長 (氏名) 片山 博 (TEL) 03-3510-1600
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月11日 配当支払開始予定日 平成26年12月8日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績 (平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	5,931	1.2	148	△13.2	146	△6.4	65	△12.3
26年3月期第2四半期	5,864	2.3	171	5.3	156	3.7	75	△10.3

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 65百万円(△12.3%) 26年3月期第2四半期 75百万円(△10.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	10.97	—
26年3月期第2四半期	12.50	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	5,501	3,008	54.7
26年3月期	5,871	3,002	51.1

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 3,008百万円 26年3月期 3,002百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	7.00	—	10.00	17.00
27年3月期	—	7.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
 26年3月期期末配当金の内訳 記念配当 3円00銭

3. 平成27年3月期の連結業績予想 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,700	△7.4	200	△60.7	190	△63.3	70	△71.9	11.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、 除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	6,000,000株	26年3月期	6,000,000株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	524株	26年3月期	474株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	5,999,480株	26年3月期2Q	5,999,526株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。上記予想に関連する事項につきましては、添付資料3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動から企業の生産活動に弱めの動きがみられるものの、景気は緩やかな回復基調が続いています。

情報サービス産業におきましては、情報化投資全体としては堅調に推移するものと見込まれますが、顧客の情報化投資姿勢は必ずしも一様ではなく、当社グループを取り巻く事業環境は、注視が必要な状況にあります。

このような状況のもと、当社グループは顧客満足の更なる向上を図るため、技術力を基盤としたプロジェクトマネジメント力とコンサルティング力の活用による高付加価値サービスの提供に努めました。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、受注高5,513百万円（前年同四半期比6.0%減）、売上高5,931百万円（前年同四半期比1.2%増）となりました。利益面につきましては、営業利益148百万円（前年同四半期比13.2%減）、経常利益146百万円（前年同四半期比6.4%減）、四半期純利益は65百万円（前年同四半期比12.3%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

①ソリューション事業

他社開発ERPパッケージ製品をベースとしたコンサルティング、システム構築につきましては、顧客のグローバル展開支援や情報の可視化を図る複合型ソリューションの提供を推進し、着実なプロジェクトの遂行に努めました。失注等の影響で受注・売上ともに前年同四半期に比し減少しました。当セグメントの受注高は3,297百万円（前年同四半期比11.9%減）、売上高は3,498百万円（前年同四半期比8.4%減）となりました。

②プロダクト事業

自社開発ERPパッケージ「MCFrame」および「A.S.I.A.」につきましては、引き続き、顧客・ビジネスパートナーとの関係強化を図り、ライセンス販売に注力いたしました。また、継続的なマーケティング活動と製品機能の拡充に取り組みました。当セグメントの受注高は2,078百万円（前年同四半期比7.3%増）、売上高は2,261百万円（前年同四半期比23.9%増）となりました。ライセンス売上高は836百万円（前年同四半期比9.1%増）となりました。

③システムサポート事業

東洋ビジネスシステムサービス株式会社が展開する運用・保守等のシステムサポート事業につきましては、引き続きシステムのライフサイクルサポートの充実に努めました。当セグメントの受注高は137百万円（前年同四半期比27.9%減）、売上高は170百万円（前年同四半期比22.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態の分析

(資産の部)

流動資産につきましては、受取手形及び売掛金の減少等により、前連結会計年度末と比較して351百万円減少し、3,767百万円となりました。なお、当第2四半期連結会計期間末の総資産に占める流動資産の比率は68.5%であります。

また、固定資産につきましては、有形固定資産及び無形固定資産の減価償却額が有形固定資産及び無形固定資産の取得を上回ったことにより、前連結会計年度末と比較して19百万円減少し、1,734百万円となりました。

これらの結果、資産の部の当第2四半期連結会計期間末残高は、前連結会計年度末と比較して370百万円減少し、5,501百万円となりました。

(負債の部)

負債の部の当第2四半期連結会計期間末残高は、未払法人税等の減少、賞与引当金の減少等により、前連結会計年度末と比較して376百万円減少し、2,493百万円となりました。

(純資産の部)

純資産の部の当第2四半期連結会計期間末残高は、四半期純利益を計上したことによる増加、剰余金の配当による減少等により、前連結会計年度末と比較して5百万円増加し、3,008百万円となりました。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は、前連結会計年度末と比較して3.6ポイント増加し54.7%となりました。

②キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比較して43百万円減少し、565百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益146百万円を計上し、売上債権の減少373百万円、減価償却費320百万円等が、たな卸資産の増加161百万円、仕入債務の減少113百万円等を上回ったことにより、全体として331百万円の収入（前年同四半期 572百万円収入増）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得及び無形固定資産の取得（自社開発ERPパッケージ「MCFrame」の開発投資等）による支出等により、全体として315百万円の支出（前年同四半期 60百万円支出減）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払による支出等により、全体として59百万円の支出（前年同四半期 580百万円収入減）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想は平成26年10月30日公表の予想値より変更ありません。

なお、当社グループの業績特性としましては、受注案件の納期が各四半期末に集中する傾向があり、特に第2および第4四半期末にはこの傾向が一層顕著となります。このため、各四半期毎に業績は変動し、特に第2および第4四半期に大きく変動します。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	609,390	565,901
受取手形及び売掛金	2,422,484	2,049,172
仕掛品	376,189	537,994
その他	710,410	614,125
流動資産合計	4,118,475	3,767,193
固定資産		
有形固定資産	170,546	164,241
無形固定資産		
ソフトウェア	1,129,582	1,113,546
その他	156	123
無形固定資産合計	1,129,738	1,113,670
投資その他の資産		
その他	458,695	461,837
貸倒引当金	△5,499	△5,499
投資その他の資産合計	453,195	456,337
固定資産合計	1,753,480	1,734,248
資産合計	5,871,955	5,501,442
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	310,800	313,737
短期借入金	500,000	500,000
未払法人税等	232,724	71,163
前受金	501,934	513,087
賞与引当金	611,108	501,863
役員賞与引当金	30,000	-
品質保証引当金	11,163	11,278
その他	671,543	581,883
流動負債合計	2,869,275	2,493,014
負債合計	2,869,275	2,493,014
純資産の部		
株主資本		
資本金	697,600	697,600
資本剰余金	426,200	426,200
利益剰余金	1,879,048	1,884,853
自己株式	△168	△225
株主資本合計	3,002,680	3,008,428
純資産合計	3,002,680	3,008,428
負債純資産合計	5,871,955	5,501,442

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	5,864,189	5,931,834
売上原価	4,181,902	4,166,490
売上総利益	1,682,287	1,765,343
販売費及び一般管理費	1,510,943	1,616,542
営業利益	171,344	148,800
営業外収益		
為替差益	1,320	144
その他	271	201
営業外収益合計	1,591	345
営業外費用		
支払利息	2,949	2,412
株式公開費用	12,000	-
その他	1,229	-
営業外費用合計	16,178	2,412
経常利益	156,757	146,733
特別利益		
投資有価証券売却益	327	-
特別利益合計	327	-
特別損失		
固定資産除却損	1,531	64
特別損失合計	1,531	64
税金等調整前四半期純利益	155,553	146,669
法人税等	80,544	80,868
少数株主損益調整前四半期純利益	75,008	65,800
四半期純利益	75,008	65,800

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	75,008	65,800
四半期包括利益	75,008	65,800
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	75,008	65,800
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	155,553	146,669
減価償却費	321,696	320,845
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△4,035	△109,245
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	-	△30,000
品質保証引当金の増減額 (△は減少)	131	114
受取利息及び受取配当金	△13	△17
支払利息	2,949	2,412
為替差損益 (△は益)	△1,320	△144
固定資産除却損	1,531	64
投資有価証券売却損益 (△は益)	△327	-
売上債権の増減額 (△は増加)	△440,525	373,312
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△223,826	△161,804
前渡金の増減額 (△は増加)	26,873	95,740
仕入債務の増減額 (△は減少)	38,524	△113,572
前受金の増減額 (△は減少)	△20,473	11,153
その他	△9,634	9,322
小計	△152,897	544,849
利息及び配当金の受取額	16,057	27,502
利息の支払額	△3,132	△2,412
法人税等の還付額	963	1,950
法人税等の支払額	△101,911	△240,696
営業活動によるキャッシュ・フロー	△240,920	331,194
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△71,886	△29,918
無形固定資産の取得による支出	△309,026	△282,179
投資有価証券の売却による収入	1,064	-
関係会社株式の取得による支出	△12,387	-
その他	16,439	△3,397
投資活動によるキャッシュ・フロー	△375,797	△315,496
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	600,000	-
自己株式の取得による支出	-	△57
配当金の支払額	△79,011	△59,286
財務活動によるキャッシュ・フロー	520,988	△59,344
現金及び現金同等物に係る換算差額	△200	157
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△95,929	△43,488
現金及び現金同等物の期首残高	541,617	609,390
現金及び現金同等物の四半期末残高	445,687	565,901

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。